

平成 18 年 2 月期 第三級陸上特殊無線技士 試験問題

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法

規

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）してください。

〔1〕 免許人が、無線設備の変更の工事の許可を受けた後、許可に係る無線設備を運用するためには、総務省令で定める場合を除き、どのようなことが必要か、正しいものを次のうちから選べ。

1. あらかじめ運用の許可を受けなければならない。
2. 検査に合格した後、運用開始の期日を届け出なければならない。
3. 当該工事の結果が許可の内容に適合している旨を届け出なければならない。
4. 検査を受け、当該工事の結果が許可の内容に適合していると認められなければならない。

〔2〕 無線局の免許状に記載される事項でないものは、次のどれか。

1. 空中線電力
2. 無線局の種別
3. 運用許容時間
4. 工事落成の期限

〔3〕 電波法に規定する「無線設備」の定義は、次のどれか。

1. 無線電信、無線電話その他電波を送り、又は受けるための電氣的設備をいう。
2. 無線電信、無線電話その他電波を送るための通信設備をいう。
3. 無線電信、無線電話その他の設備をいう。
4. 電波を送るための電氣的設備をいう。

〔4〕 次の記述は、無線従事者になろうとする者に関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線従事者になろうとする者は、総務大臣の を受けなければならない。」

1. 免許
2. 許可
3. 承認
4. 登録

〔5〕 第三級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、空中線電力 100 ワット以下の陸上の無線局の無線設備（レーダー及び人工衛星局の中継により無線通信を行う無線局の多重無線設備を除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができる周波数の範囲は、次のどれか。

1. 21 メガヘルツ以上
2. 1,215 メガヘルツ以上
3. 4,000 キロヘルツ以上
4. 25,010 キロヘルツ以上

〔6〕 無線従事者がその免許証の訂正を受けなければならないのはどの場合か、正しいものを次のうちから選べ。

1. 上級の資格の免許を受けるとき。
2. 本籍の都道府県を変更したとき。
3. 氏名に変更を生じたとき。
4. 住所を変更したとき。

法

〔7〕 次の記述は、電波法に規定する「なるべく擬似空中線回路を使用しなければならない場合」について記述したものであるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線設備の機器の 又は調整を行うために運用するとき。」

1. 開発
2. 研究
3. 調査
4. 試験

〔8〕 総務大臣は、電波法の施行を確保するため特に必要がある場合において、無線局に電波の発射を命じて行う検査では、何を検査するか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 無線従事者の無線設備の操作の技能
2. 発射する電波の質又は空中線電力
3. 電波の伝搬状況
4. 他の無線局に与える混信の程度

〔9〕 免許人又は登録人が総務大臣から無線局の運用許容時間、周波数又は空中線電力の制限を受けることがある場合は、次のどれか。

1. 電波法に基づく命令に違反したとき。
2. 無線局の運用を引き続き6箇月以上休止したとき。
3. 不正な手段により周波数の指定の変更を行わせたとき。
4. 不正な手段により無線設備の設置場所の変更の許可を受けたとき。

規

〔10〕 無線従事者が電波法の規定に違反したときは、総務大臣から受けることがある処分は、次のどれか。

1. 無線設備の操作範囲の制限
2. 3箇月以内の業務の従事停止
3. 6箇月間の業務の従事停止
4. 1年間の無線局の運用停止

〔11〕 基地局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、次のどの箇所に掲げておかなければならないか。

1. 無線局のある事務所の見やすい箇所
2. 通信室内の見やすい箇所
3. 受信装置のある場所の見やすい箇所
4. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所

〔12〕 無線局の免許人又は登録人は、主任無線従事者を選任又は解任したときは、電波法の規定により、どの手続をとらなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 遅滞なくその旨を届け出る。
2. 2週間以内にその旨を届け出る。
3. 1箇月以内にその旨を報告する。
4. 3箇月以内にその旨を報告する。